

第3回奈良ESD連続セミナー概要報告

奈良教育大学 中澤 静男

◇実施日時 2019年6月13日(木) 19時～21時30分

◇会場 次世代教員養成センター2号館多目的ホール

◇参加者 高良(筒井小)、島(郡山西小)、圓山・大西(飛鳥小)、梶原・樋口(平城西小)、新宮(平城小)、河野(附属小)、後藤田(大阪成蹊大)、今江(ソーシャル・サイエンスラボ)
藤原・奥平・坂元・東尾・上田・山之内・長谷川・畑下・櫛(学生)
森下・北村・中澤(奈良教育大学)

◇内容

1. 前回の振り返り

(1) ESDを構成する3つの教育

ESD＝開発教育＋環境教育＋人権・平和教育

(2) ESDの目標

持続可能性に関する価値観と行動の変革を通して、結果として持続可能な社会の実現を目指す
キーワードは「変革」



2. SDGsを読み解く

(1) 直面する課題と関連する目標

貧困(1)、国内的・国際的不平等(10)、ジェンダー平等(5)、失業(8)、地球規模の健康の脅威(3)、自然災害(11)、紛争・暴力的過激主義(16)、難民(16・11)、天然資源の減少(15)、砂漠化(15)、干ばつ(15)、土壌悪化(15)、淡水の欠乏(6)、生物多様性の喪失(15)、気候変動(7)、

(2) 目指すべき世界像と関連する目標

貧困(1)、飢餓(2)、病気及び欠乏・保健医療(3)、恐怖と暴力(16)、質の高い教育(4)、社会的福祉(3)、飲料水と衛生(6)、安全な住居(11)、持続可能なエネルギー(7)、女性・女性のジェンダー平等(5)、包摂的で持続可能な経済成長(8)、生物多様性(15) 持続可能な生産と消費(12)、海洋・陸域の天然資源の持続可能な利用(14・15)、

3. ESDとSDGsの関連

人々の意識を変えていくのがESD

意識を変えた人々が世界を改善する項目がSDGsの各目標

ESDを学んだ後、教材に関連するSDGsの目標について、意識や行動の変容が見られたかがポイントとなる。なぜなら、ESDは変容を促す教育であるため。

総合的な学習の時間においては、上の文言がズバリと当てはまる。

教科においては、学習指導要領に即して教科の学習として成立していることが重要。その上で、

①教科の学習内容が、ESDの価値観、資質・能力、視点(見方・考え方)の育成にとって価値あるものであることやSDGsと関連することを、まず教員が認識し、子どもに伝え、学習を意義づける。

②総合的な学習の時間や日常生活、地域での活動、ボランティア等他の機会に活用することができ

る「E S Dの資質・能力」を育成する。

4. E S Dの実践に関して

(1) 人々の意識を変えていく : E S D の役割

次のような価値観を育てる

(評価できる・課題を見いだす・ライフスタイルを変えていく)

- ①世代間の公正を意識できる
- ②世代内の公正を意識できる
- ③生態系・自然環境の保全を優先する
- ④人権・文化を尊重する。



(2) 評価のしかた

①学習前にアンケート調査等を行い、学習後のアンケート調査と比較する。

子どもは自己の変容を知ること、達成感を得る。

教師にとっては、指導方法を改善する手立て。

②評価の観点

・単元や教材によって、中核となる価値観(①～④)は異なるので、どれか1つか2つを選択。

・①の事前・事後の自己評価を用いて、総合的な変容を評価する。

・E S Dで育てたい資質・能力を評価する。

クリティカル・シンキング 当たり前を問い直し、よさや課題を見いだす

システムズ・シンキング 個々の事象をつなげて、総合的に理解する・説明する
知識の構造化・概念的知識の獲得(Whyへの説明ができる)

長期的思考力 長期予測データに基づいた考察

(人口・気候・格差・地震・食料・水産資源・技術革新など)

コミュニケーション力

協働的問題解決力

課題の発見ー仮説の作成ー調査活動ー話し合いー考察・表現(レポート・プレゼン・行動化など)

※クリティカル・シンキング、システムズ・シンキング、長期的思考力で使えるのがE S Dの視点(見方・考え方)だと考えています。

E S Dの視点

多様性(いろいろあるか)、相互性(つなぐ・つながっているか・循環しているか)、有限性(もったいなくないか)、公平性(世代内・世代間)、連携性(協力しているか)、責任性

※私は、自発的に行動を変容することが重要だと考えているので、E S Dの評価については相互評価を通した自己評価が有効であると考えています。どなたか、共同研究しませんか?

(事前・事後評価シートの作成、評価計画の作成、相互評価カードの作成、相互評価の実施(複数回)、相互評価の蓄積、相互評価カードを材料にした「学びの作文」の実施、シート・カード・作文の分析)

5. 授業改善・授業づくり

①教科の学習や既存の総合的な学習のE S D的改善

②新しく教材開発して総合的な学習をつくる（E S D総合）

（1）授業構想

- ・単元名
- ・単元の目標 知・技、思・判・表、主学
- ・単元の評価規準 知・技、思・判・表、主学
- ・主に関連するE S Dの価値観
- ・主に関連するSDG sの目標

全 10 時間

主な学習活動	学習への支援	◇評価・備考	E S Dの視点	E S Dの資質能力
1. 導入と課題の作成② なぜ、〇〇？ どのように〇〇？		◇当たり前を見つめ直し課題を見いだす	教材による	クリティカル・シンキング
2. 調べる④ 仮説を立て、調べる	調べる内容でグループ編成	◇協力して調査する		コミュニケーション力
3. 話し合う③ グループ発表をもとにした仮説の検証		◇調査結果をわかりやすく表現する ◇事実やデータに即した話し合いをする。		クリティカル・シンキング 長期的思考力 コミュニケーション力
4. まとめる①	自分の言葉でまとめる			システムズ・シンキング



(1) 環境教育 + 人権・平和教育 + 開発教育
持続可能な社会にしていけるには
ある程度の経済成長が必要
ハ・マン・ディリーの3つの規則

(2) 価値観と行動の変革を促す

システムズ・シンキング（構造的にとらえる）
知識の構造化（つなげる）による
概念的知識を獲得する
（説明233） why

問題解決学習
課題 - 仮説 - 調査 - 話し合い - 発表表現

次回は7月11日
（木）です。授業構想
案を検討します。作成
してきてください。